

BOOK NEWS



大洲高校図書館
No. 4 2025年9月



2025年度 上半期 第173回 芥川賞・直木賞 該当作品なし

残念ながら今回の受賞は該当作なしでした。第172回の芥川賞・直木賞を紹介します。

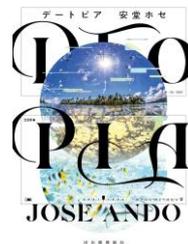
〈芥川賞〉

安堂ホセ

『Dトピア』

河出書房新社

恋愛リアリティショー「Dトピア」新シリーズの舞台はボラ・ボラ島。ミスユニバースを巡ってMr. LA、Mr. ロンドン等十人の男たちが争う——時代を象徴する圧倒的傑作、誕生！

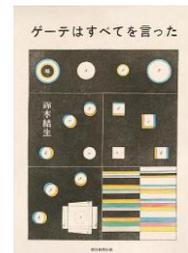


鈴木結生

『ゲートはすべてを言った』

朝日新聞社

高明なゲート学者、博覧強記は、一家団欒のディナーで、彼の知らないゲートの名言と出会う。ティー・バッグのタグに書かれたその言葉を求めて、膨大な原典を読み漁り、長年の研究生活の記憶を辿るが……。ひとつの言葉を巡る統一の旅は、創作とは何か、学問とは何か、という深遠な問いを投げかけながら、読者を思いがけない明るみへ誘う。



〈直木賞〉

伊与原新

『藍を継ぐ海』

新潮社

数百年先に帰ってくるかもしれない。懐かしい、この浜辺に——。徳島の海辺の小さな町で、なんとかウミガメの卵を孵化させ、自分ひとりの力で育てようとする、祖父と二人暮らしの中学生の女の子。人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた、科学だけが気づかせてくれる大切な未来。



芥川賞・直木賞の歴史と由来・・・毎年1月と7月に選考が行われる

芥川賞は「羅生門」や「蜘蛛の糸」の著者である芥川龍之介の名を冠した文学賞として知られます。芥川龍之介は1892年に東京で生まれ、大正から昭和初期にかけて活躍した文豪です。芥川賞は、1935年に菊池寛によって創設されました。文学賞の正式名称は「芥川龍之介賞」です。

直木賞は小説家・脚本家・映画監督として活躍した「直木三十五（なおき・さんじゅうご）」の名を冠した文学賞です。主な著作として、「南国太平記」が知られています。直木賞は芥川賞と同時に、菊池寛によって「直木三十五賞」として創設された文学賞です。

図書委員の今月のおすすめ

君たちはどう生きるか 吉野源三郎

「人間は自分で自分の行動を決定する力」を持ち、過ちを認めたくなくて苦しみ、そこから立ち直れるのは人間だけです。

主人公コペル君はいじめや貧困問題、社会階層といった日常生活の様々な課題と向き合い、悩みながら成長していきます。

コペル君が成長していく過程が自分たちの悩みとも重なり、「自分ならどう行動するか」について考えさせられます。（新潮社）



「すみません」の国 榎本博明

「すみません」の国 榎本博明

日本では「ごめんなさい」、「ありがとう」の代替として「すみません」が使われることが多く、こうした使い方が、日本社会の「和」、「遠慮」、「察し」などといった、文化的価値に結びついている。

実際に読み、何気なく使っている「すみません」という言葉が様々な意味、感情を持っていることに気づかされた。言葉の背景にある、文化、心理を見つめ直す、きっかけになる本だと感じる。（日本経済新聞出版社）